

第14回臨床教科教育学セミナー2016のご案内

臨床教科教育学学会会長 西川 純
第14回セミナー実行委員長 松本 修
副委員長 池田仁人

- 1 主催 臨床教科教育学学会
 - 2 期日 平成28年1月10日(日)
 - 3 会場 玉川大学 大学教育棟 (〒194-8610 町田市玉川学園6-1-1)
 - 4 日程 (予定 発表人数等により変更する場合があります。)
 - 9時00分～ 9時30分 受付
 - 9時30分～ 11時40分 自由研究発表1
 - 11時40分～ 12時30分 昼食, 休憩
(朔風館食堂で申し込みの弁当を配布します。)
 - 12時30分～ 13時30分 ワークショップ
仮題 国語科における言語活動と教科書・教材
算数・数学の教科書教材をアレンジしてみよう
理科授業におけるアクティブ・ラーニングの再考
 - 13時40分～ 15時30分 自由研究発表2
 - 16時00分～ 17時30分 懇親会 朔風館食堂
 - 5 自由研究発表申し込み
 - (1) 研究発表は自由研究発表のみとします。

発表者は、原則として会員に限ります。会員は、本年度までの学会費を11月27日(金)までに納入していることが要件です。新たに学会に入会し発表される方は、発表申し込みと並行して次の臨床教科教育学学会事務局に入会手続きをお取り下さい。本学会ホームページ(<http://www.rinkyokyo.com/>)上にある“入会手続き”に、入会手続きの詳細を記載しています。
 - (2) 自由研究発表 及び 発表予稿集の原稿送付方法

発表を希望される方は、6の手続きで参加の申し込みをするとともに、発表予稿集の原稿を電子メール添付(ワードまたは一太郎)で送付してください。
(11月27日(金)必着)

発表予稿集の原稿の形式は「12 発表予稿集の原稿の形式」をご参照ください。
発表時間等に関するご要望等については、対応できません。
- ※ 当日は発表15分、質疑5分(移動時間含む)で行います。
電子メールアドレス: rinkyokyo2016@yahoo.co.jp
件名: 予稿・臨床教科教育学セミナー(氏名)

6 参加申し込み方法

参加を希望される方は、12月11日（金）までに本学会ホームページ（<http://www.rinkyokyo.com>）HPの申し込みフォームでお申し込みください。また「7参加費」に示す口座に合計額をお振り込みください。

弁当については、申し込みの数だけにさせていただきます。

7 参加費 合計額をお振り込みください。

大学生：無料（資料なし） 資料を希望される場合は資料代1,500円。

学会員：1,500円（平成27年11月27日までに学会費等を納入し、入会手続きが完了していること。）

非学会員：2,500円（大学院生，一般）

懇親会費：3,000円

弁当：800円

振込先：東京都民銀行 玉川学園支店

普通預金口座 臨床教科教育学セミナー 代表 松本修

リンショウキョウカキョウイクガクセミナー ダイヒョウ マツモトオサム

口座番号：5023500

8 派遣申請

派遣申請書が必要な方は、「派遣者氏名」，「宛先」を明記の上，セミナー2016実行委員会まで電子メールでご連絡ください。なお，旅費等の負担はできません。

9 問い合わせ先

臨床教科教育学セミナー2016 実行委員会

電子メール：rinky2016@yahoo.co.jp

詳細が決定し次第，最新情報をホームページ上に掲載いたします。

アドレス：<http://www.rinkyokyo.com/>

10 交通・宿泊案内

(1) 交通機関

小田急線 玉川学園前駅北口

(2) 宿泊

町田駅周辺に複数のビジネスホテルがあります。他、各自ご都合の良い所でご予約をお願いします。

*駐車場はありません。

11 発表予稿集の原稿の形式

・・・ 1行空け・・・

〇〇による〇〇の変容に関する研究 (MSゴシック 14ポ)

・・・ 1行空け・・・

〇臨 床介 (〇〇大学大学院)

投稿 例子 (〇〇大学)

(rinkyokyo@rinkyokyo.com)

・・・ 1行空け・・・

要約

本研究の目的は、次の3点である。第1は、各教科における〇〇を取り入れた授業についての教師の意識を明らかにすることである。第2は、既習前に〇〇条件 (〇〇的〇〇を生じさせる条件) の提示による〇〇効果、〇〇効果 (〇〇度と〇〇的影響) を意識変容から検討することである。第3は、既習前に〇〇条件を提示することが、〇〇として機能するか検討することである。その結果、次のことが明らかになった。

・・・ 1行空け・・・

キーワード：学び合い，人間関係，意識変容

・・・ 1行空け・・・

I 問題の所在

最近の〇〇教育では・・・

2段組 1行22字

8. 各引用箇所には、^{1), 2), 3)}の順に右上付けて、番号を入れる。

II 研究目的

本研究では、・・・

引用文献

1) 〇〇・〇〇：「〇〇提示における生徒の概念の変容－〇〇を事例とした〇〇概念に関して－」，〇〇学会研究紀要，Vol. 〇〇，1994.

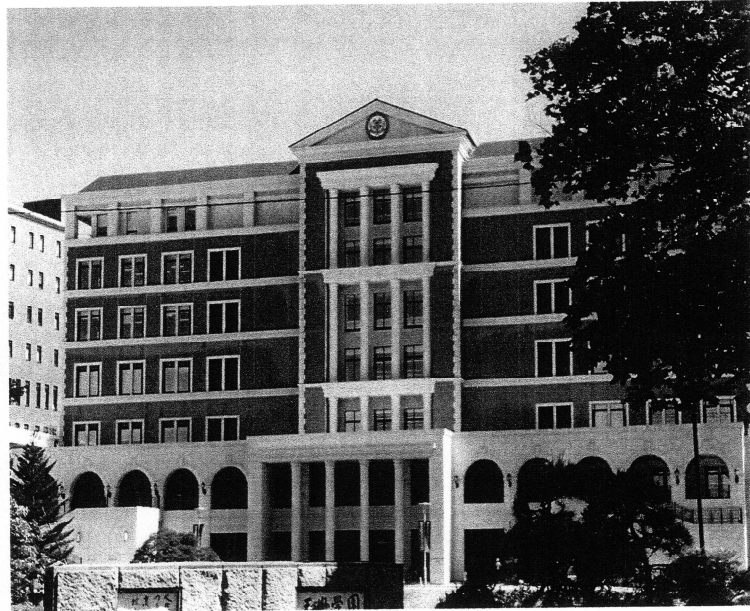
III 研究方法

注意事項

1. 原稿はA4版2枚とする。
2. タイトルはゴシック体14p太字で、中央寄せにする。
3. 研究者名 (所属校名) は明朝体12pで右寄せにする。共同研究者、連絡先のアドレスについても同じ。
4. 要約は簡潔にまとめ、1行空けてキーワードを5語以内とする。1行空けて見出しを書き始める。
5. 見出しはゴシック体10.5pで、前文との間を1行空ける。
6. 本文は2段組、文字数22字、行数43行とし、明朝体10.5p。
7. 余白は上下25mm、左右20mmとする。

注意事項

著者名：「論文名」，雑誌名，巻，頁，発行機関または発行所，発行年。
著者名：「単行本」，頁，発行所，発行年。



5階
講義室

1F入り口右側エレベータか、階段→エスカレーター→階段で5Fへ

